

森林・林業・林業公社に関する情報誌

# 第6号 林業公社だより

● 経営改善推進状況のご報告

- ・ 分収契約の変更
- ・ 路網整備による生産コスト縮減

● 新しい公益法人制度への取り組みについて

● 「設立50周年」を迎えた対馬林業公社

● 全国育樹祭の開催について

● 森林・林業豆知識

● 林業公社事務所移転のご案内

対馬市大綱キシキシ造林地  
(昭和34年植栽)



発行 (社)対馬林業公社・(社)長崎県林業公社

2010.1.20 発行

〒854-0063 諫早市貝津町1122番地6 TEL 0957-25-0346 FAX 0957-25-0347

E-mail: ringyo2@dance.ocn.ne.jp URL: <http://www9.ocn.ne.jp/~ringyou/>



## 経営改善推進状況のご報告

「林業公社第6次経営計画」に基づき、役職員一丸となり経営改善に取り組んでいるところです。主な改善項目の状況は次のとおりです。

### 分収契約の変更

契約期間及び分収割合の変更について、公社職員が皆様に直接ご説明に伺い、これまでにご理解ご協力いただいた実績は次のとおりです。今後も引き続き説明に伺いますので、ご協力よろしく申し上げます。

平成21年12月末日現在

公社別	管理面積	契約件数	分収割合		契約期間の延長	
			完了件数	承諾率	完了件数	承諾率
対馬公社	7,171ha	1,122件	858件	76.5%	850件	75.8%
長崎公社	6,994ha	1,492件	1,149件	77.0%	1,197件	80.2%
両公社	14,165ha	2,614件	2,007件	76.8%	2,047件	78.3%

### 路網整備による生産コスト縮減



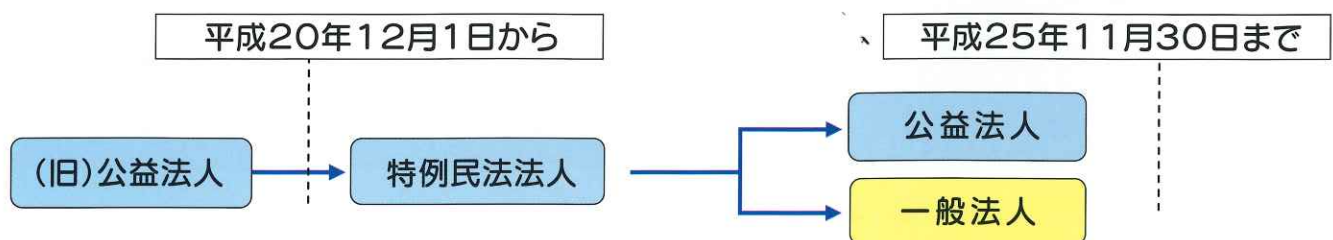
木材価格が低迷する中、販売に要するコストをいかに抑えるかが課題となっております。販売コストの大半を占める伐採、搬出コストを縮減するためには、高性能林業機械の導入や効率的な運搬方法などの取組が必要であり、そのためには、作業路網の整備が不可欠です。そこで林業公社では、新たに創設された定額補助等による基幹作業道(W=3m)の整備を積極的に進めており、平成20年度に10,468m整備し、平成21年度は8,000mを計画しています。

## 新しい公益法人制度への取り組みについて

平成20年12月から、新しい公益法人制度がスタートしています。

旧制度のもとで設立された公益法人は平成25年11月までに新制度の公益法人、または一般法人のいずれかに移行しなければなりません。

そこで、林業公社では新制度における公益法人の認定を前提とした準備作業を進めています。その後の取り組み内容については、次号以降でもご報告していきます。



◎ 特例民法法人…旧制度のもとで設立されえた公益法人のこと。

◎ 一般法人…法律の要件を満たせば登記のみで設立できます。

◎ 公益法人…一般法人のうち、法律に定められた公益認定基準をクリアした法人を行政庁が認定します。



## 「設立50周年」を迎えた対馬林業公社



対馬市美津島町箕形タガ工造林地  
(列状間伐により木材生産を実施)



対馬市厳原町久田港での船積

対馬林業公社は、全島の約90%を占める森林を活用した地域振興を目的に、昭和34年全国で最初の林業公社として設立され、今年で50周年を迎えました。

この間、森林資源の造成を通して対馬の環境保全や雇用の創出に貢献してまいりました。これまでに造成した森林は、対馬の民有林人工林の約27%に当たる5,138haとなっています。

また、木材生産もすでに始まっており、平成20年度は5,400m<sup>3</sup>の素材(丸太)を出荷しました。

なお、長崎公社も含めた両公社の経営面積は11,315haで、平成20年度は11,300m<sup>3</sup>を出荷しています。

林業公社の経営は、木材価格が長期低迷する中で厳しい経営となっておりますが、国・県・市町のご支援や土地所有者の皆様のご理解ご協力による分収率の見直しは、経営改善に大きな効果をもたらしております。

また、公社自らも管理コストの縮減や生産流通コストの縮減など、経営改善に取り組んでいるところです。

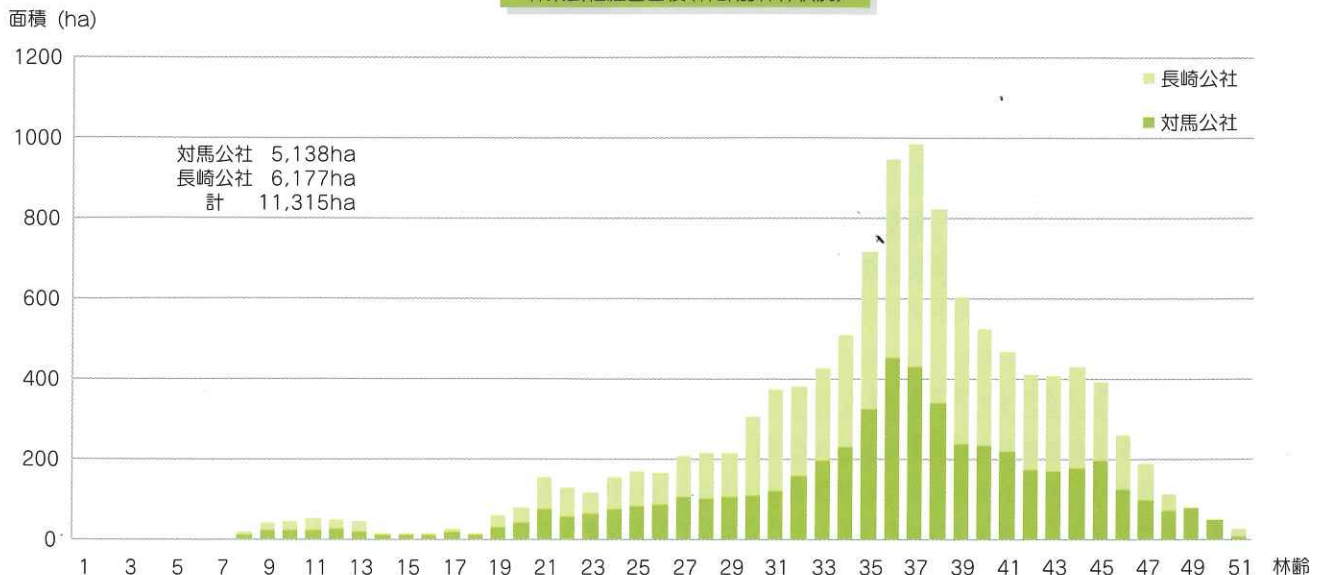
今後とも、健全な森林の育成に努めるとともに、地域の林業・木材産業の活性化に貢献してまいりますので、よろしくお願いいたします。



対馬市佐賀小山間伐材(50年生)

### 林業公社の森林資源

林業公社経営面積(林齢別森林状況)





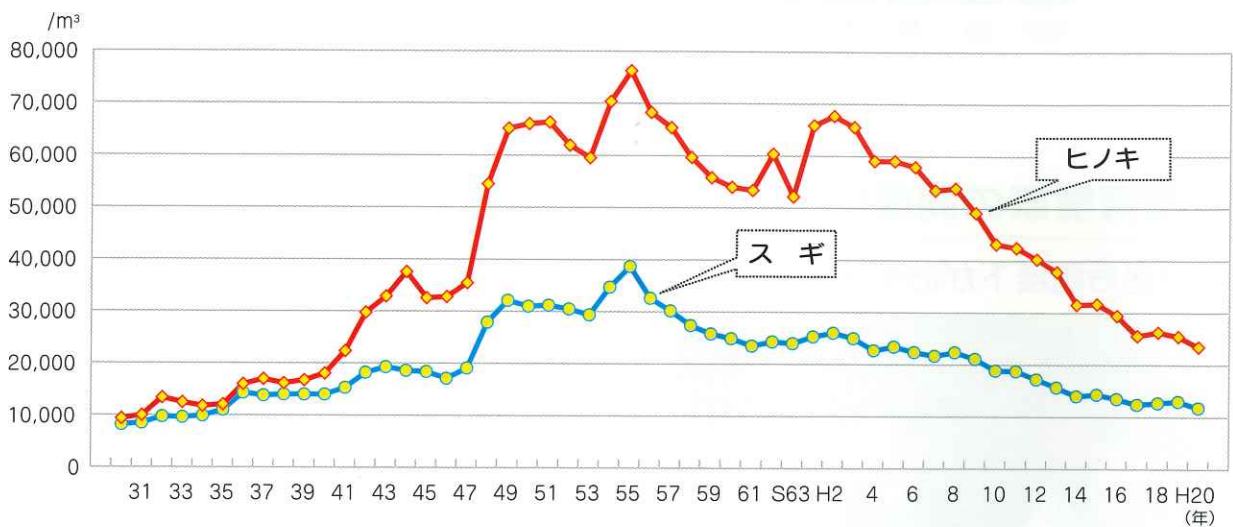
## 木材価格・木材供給量・国産材自給率の推移

木材価格は、住宅着工数や外材輸入量等と関連し、推移してきました。昭和30年代から昭和50年前半までは、高度経済成長に伴う木材需要の伸びに支えられ上昇を続けてきました。昭和50年後半になると住宅着工数の減少により木材価格は下落しましたが、昭和60年代に入り、内需拡大策により住宅着工数が回復し木材価格も下落傾向から脱しました。

しかしながら、平成3年のバブル崩壊により、住宅着工数は減少に転じ、加えて円高による外材輸入量の増加もあり、木材価格は長期にわたり下落を続け、平成20年度の価格は昭和55年のピーク時に比べヒノキ31%、スギ30%となっています。

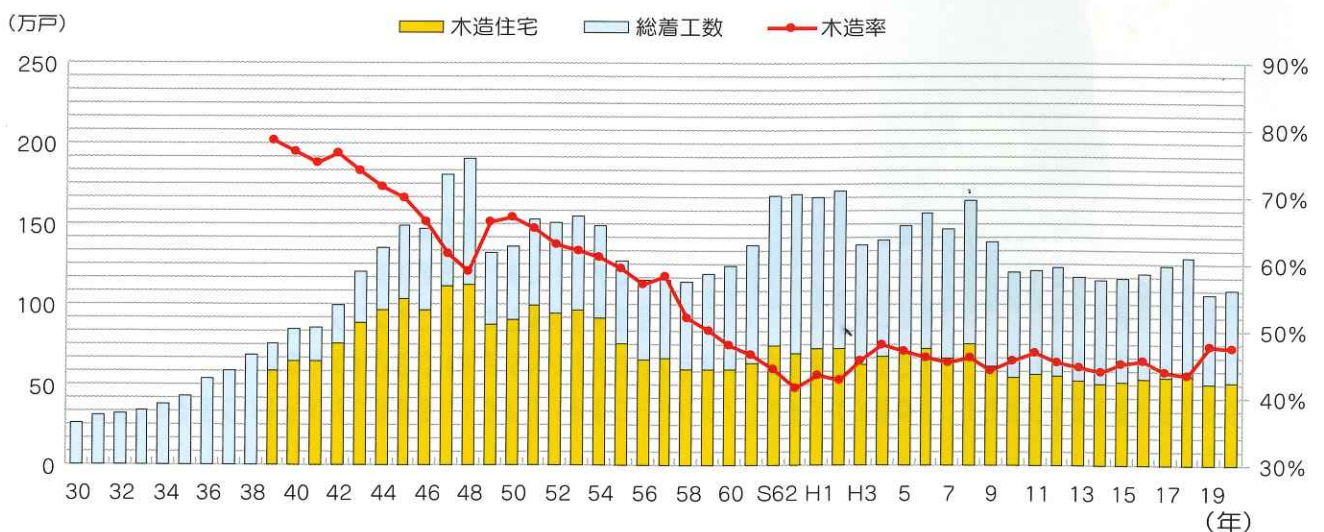
また、昭和30年には95%であった国産材の自給率は、外材の輸入量増加等により年々低下し、平成11年には20%を割るまでとなりました。しかし、国産材や県産材の利用促進の取組み等により、平成17年には20%台を回復し、以後上昇傾向を示しています。

### 丸太価格の推移(径14~22cm)



資料：農林水産省「木材需給報告書」

### 新設住宅着工戸数と木造率の推移



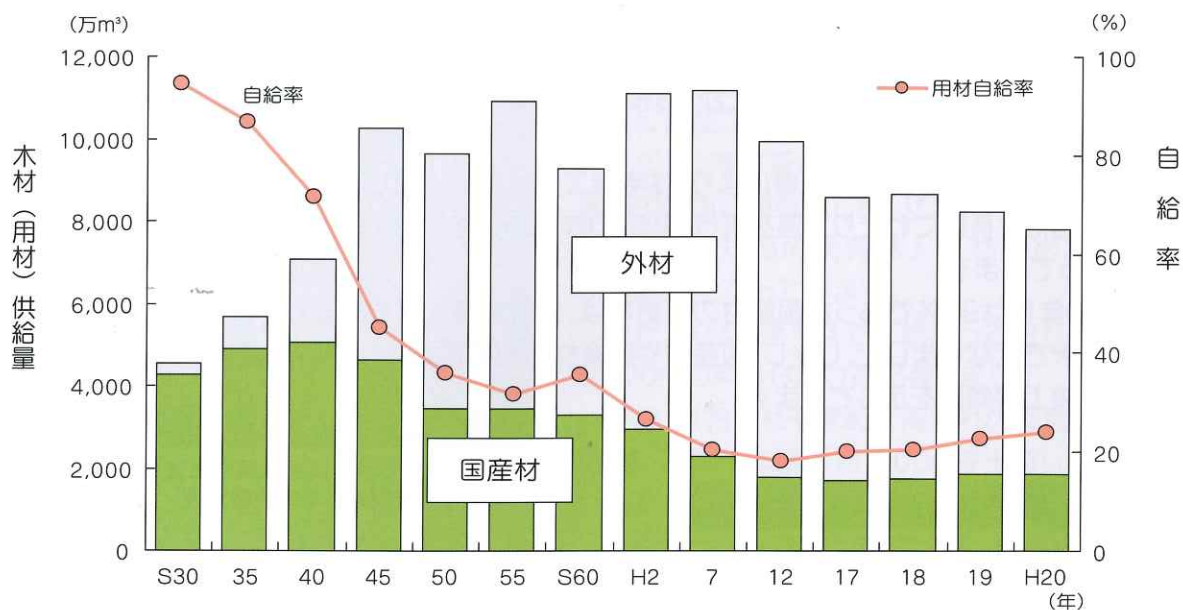
※昭和38年以前の木造のデータは不明。

資料：国土交通省「住宅着工統計」

平成21年は、世界的金融危機に伴う住宅需要の停滞により住宅着工数は大幅に減少し80万戸を下回ることが予想されています。



## 木材供給量と自給率の推移



資料：農林水産省「木材需給表」

## 全国育樹祭の開催について

### 【天皇皇后両陛下がお手植えされたヒノキに「お手入れ」をされる皇太子殿下】



去る10月4日(日)、皇太子殿下の御臨場を仰ぎ、「未来へと 夢をつないで 育てる緑」を大会テーマに、県内外から約7,500人の参加を得て、第33回全国育樹祭を雲仙市の県立百花台公園を主会場に、開催いたしました。

式典に先立ち、皇太子殿下は百花台森林公園において、全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされたヒノキに「お手入れ」をされ、式典会場へ御臨場になられました。

式典では、皇太子殿下から「森林は、美しく豊かな国づくりの基礎である」と、さらに「森林を守り育てる活動の輪が、ここ長崎から世界へ、そして未来へと広がることを願っています」と「おことば」を賜りました。

続いて、林業の振興や緑化の推進などの功労のあった方々に対する表彰や佐世保市祇園緑の少年団の活動発表などが行われました。

メインテーマアトラクションでは、健全な森林を次の世代へ引き継ぐことの大切さを、県民参加による創作演技で表現するとともに、4組のメッセンジャーによる「ながさき発森林からはじまる環境宣言」を発信しました。

さらに、国土緑化推進機構理事長から「地球温暖化防止に向け、森林の整備や木材の積極的な利活用など『循環型社会』の実現」や「『国民参加の森林づくり』などを一層推進する」と大会宣言が行われ、盛会裡に終了いたしました。

全国育樹祭の開催にあたりましては、多くの県民の皆様にご支援ご協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

(長崎県全国育樹祭準備室)



## 森林・林業豆知識

### 森林整備に使用している高性能林業機械

#### 【プロセッサ】 (枝払い・玉伐り)



伐採した樹木を枝付きのまま集積し枝払いから玉伐りまで専門に行う機械。

#### 【フォワード】 (集積・運搬)



玉伐りされた木材を積込運搬する。集材用の車両で、先端に材をつかむ機械が装備されています。

#### 【グラップル】 (積込)



玉伐りした木材のトラック積込を効率的に行うための機械です。狭いスペースでの積込、細く曲がりくねった作業道で自在に移動可能。

## 林業公社事務所移転のご案内

本社事務所が平成21年3月23日に移転しました。新住所等は下記のとおりです。

- (本社) 〒854-0063 長崎県諫早市貝津町1122番地6  
TEL(0957)25-0346 FAX(0957)25-0347  
E-mail: ringyo2@dance.ocn.ne.jp



- (対馬事務所) 〒817-8520 対馬市厳原町宮谷224 TEL(0920)52-0551 FAX(0920)52-0884
- (県北事務所) 〒857-0312 北松浦郡佐々町市場免3-3 TEL(0956)62-2816 FAX(0956)62-2816

### 『お願い』

契約しています土地について、相続等により所有権の移転が発生した場合、または住所を変更された場合は、その旨林業公社へ同封の変更届で報告をお願いします。

## 編集後記

地球的規模での環境問題が注目されている今日、森林に対する国民の要請は多様なものになってきております。さて、去る10月4日、全国各地から多くの参加者のもと全国育樹祭が本県で開催されましたが、これを契機に森林の役割や森林を育てることの重要性に対する意識の高まることが期待されます。

林業公社も関係者の皆様と一体となり、大切な森林を育て次の世代に引き継いでまいります。